

セクシュアル・ハラスメントの 「新」常識 —教育現場での問題点と防止策—

講師：牟田和恵先生

大阪大学人間科学研究科教授。

専門は社会学・ジェンダー論。

日本で初めてのセクハラ裁判となった福岡セクハラ事件(1989年提訴)の支援代表を務めて以来、研究・実践の両面からセクハラ問題にかかわる。大学のセクハラ問題については、キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワークの創設(1995)以来の中心メンバー。

著書に『ジェンダー家族を超えて—近現代の生/性の政治とフェミニズム』(新曜社)、『部長、その恋愛はセクハラです!』(集英社新書)、『ここからセクハラ! アウトがわからない男、もう我慢しない女』(集英社)、編著に『架橋するフェミニズム—歴史・性・暴力』(無料電子書籍)などがある。



日時：2019年6月29日(土)13:30～14:30

場所：跡見学園女子大学 文京キャンパス M2304(予定)

■概要:「セクハラはダメ」—今では誰もが知る常識です。でもそれなのにセクハラはなくなるどころか、あちこちで起こり、受け手に大きな被害を与えるだけでなく、組織にとってもハラスメントをした当人にとってもダメージを与えます。なぜ気づかずにセクハラをしてしまうのか、どうしてNoと言うことができないのか、周囲はどのような行動をとればいいのか、そしてとりわけ教育現場での組織の責任とは?セクハラのない環境づくりのために、これまでの常識を覆す実効的な「新」常識を皆さんと共有したいと思います。